

HDS027-P08

会場:コンベンションホール

時間:5月24日 16:15-18:45

岐阜県，根尾谷北部の山地斜面に多数見られる低崖地形の成因と形成時期 - 能郷谷，礼野（いやの）付近を例として -

Origin and age of LiDAR-detected scarplets on the mountain slope: a case study around Iyano in Neo valley, central Japan

河野 太陽^{1*}, 金田 平太郎¹
Taiyo Kono^{1*}, Heitaro Kaneda¹

¹ 千葉大学大学院理学研究科 地球科学コース

¹Dept. of Earth Sciences, Chiba Univ.

岐阜県，根尾谷断層北端部の山岳地域における航空レーザー測量によって，これまでその存在が知られていなかった多数の低崖地形が検出された．本研究では，これらの低崖地形群のうち，能郷谷礼野（いやの）付近に分布する低崖地形群の成因・形成時期を解明するために，航空レーザー測量データの解析，地形・地質調査，および逆向き低崖によって形成された小凹地の手掘りによるピット掘削調査を実施した．その結果，これらの低崖地形群は山体重力変形の初期的地形として知られるサギング地形であり，受け盤斜面の頂部が重力的に落ち込むことにより，その下部斜面がブロック回転しながら倒れ込み，逆向き低崖群をつくるモデルで説明できることが明らかとなった．更に，1地点におけるピット掘削調査から，当該地点の低崖地形は少なくとも15世紀以前には存在していたと考えられ，しかも，崖の形成後，少なくとも1回は成長している可能性が高いことも明らかになった．ただし，この崖が1891年濃尾地震時に成長したかどうかについては不明である．今後，同地域の山地斜面にて検出された他の低崖地形を詳しく調査することによって，こうした低崖地形の形成・成長と根尾谷断層をはじめとする濃尾活断層系の活動との関係が解明できる可能性がある．

キーワード: 根尾谷断層, 山地斜面, 航空レーザー測量, 低崖地形, 濃尾地震, サギング地形

Keywords: Neodani fault, mountain slope, airborne LiDAR, scarplets, Nobi Earthquake, sagging